

平成 30 年度

医療事故調査制度「支援団体統括者セミナー」(公益社団法人日本医師会へ委託)

医療事故調査を行うにあたっての知識および技能の習得に加え、医療事故調査制度を牽引する各地域のリーダーを育成し、標準的な考え方や調査方法が各地に普及されることを目的にした研修。

◇開催日：平成 31 年 3 月 9 日・10 日（東日本）、平成 31 年 3 月 16 日・17 日（西日本）

◇受講者：[東日本] 都道府県医師会担当役員（医師）19 名、基幹病院等代表者（医師）19 名、
地域看護職代表者（看護師）18 名 計 56 名
[西日本] 都道府県医師会担当役員（医師）14 名、基幹病院等代表者（医師）16 名、
地域看護職代表者（看護師）16 名 計 46 名

◇プログラムおよび講師

1 日目

12：30～12：40	開講挨拶	
12：40～12：55	講義：医療事故調査制度の概況 渡邊 顕一郎（厚生労働省 医政局総務課 医療安全推進室 室長）	
12：55～13：10	講義：医療事故調査・支援センターの概況 木村 壯介（日本医療安全調査機構 常務理事）	
13：10～13：40	講義・演習：医療事故報告における判断の支援 山口 徹（日本医療安全調査機構 顧問兼医療事故調査・支援事業部 部長）	
13：40～14：20	講義：当該医療機関における初期対応 宮原 保之（日本医師会 医療安全対策委員会 委員）	
14：20～15：00	講義：院内調査委員会における死因の検証・分析 上野 道雄（日本医師会 医療安全対策委員会 副委員長）	
15：20～16：10	講義：調査分析、報告書の書き方 宮田 哲郎（山王メディカルセンター 血管病センター長）	
16：10～16：40	講義：演習事例の説明、グループワークのすすめ方について 南須原 康行（北海道大学病院 医療安全管理部 教授）	
16：40～17：40	①情報の収集・整理 ・ヒアリング項目 ・ポイント表作成	自己紹介 グループワーク

2 日目

9：00～ 9：05	前日の想起 進行：南須原 康行（北海道大学病院 医療安全管理部 教授）	
9：05～10：05	②情報の収集・整理 （ヒアリングの方法含む）	グループワーク（ロールプレイ）
		発表・討議
		まとめ 宮原 保之（日本医師会 医療安全対策委員会 委員）
10：05～11：05	③死因の検証・分析	グループワーク
		発表・討議
		まとめ 上野 道雄（日本医師会 医療安全対策委員会 副委員長）
11：15～12：35	④調査分析 ⑤再発防止策の検討	グループワーク
		発表・討議
		まとめ 長尾 能雅（名古屋大学医学部附属病院 副院長）
13：35～14：35	⑥報告書のまとめ方	グループワーク
		発表・討議
		まとめ 宮田 哲郎（山王メディカルセンター血管病センター長）
14：35～15：35	講義：調査報告書についての解説 上野 道雄（日本医師会 医療安全対策委員会 副委員長） 長尾 能雅（名古屋大学医学部附属病院 副院長）	
15：35～15：55	まとめ：研修全体の質疑応答 山口 徹（日本医療安全調査機構 顧問兼医療事故調査・支援事業部 部長）	
15：55～16：00	閉講挨拶	